

平成19年12月8日(土)13:30~15:30

会場:岐阜市北部コミュニティセンター 大集会室

岐阜市八代1丁目11番13号 TEL058-233-2110

第一部【基調講演】

演題: **生物多様性と私たちの暮らし**

講師:村上 興正 (元京都大学理学部講師)

第二部【パネルディスカッション】

パネリスト :村上 興正 (元京都大学理学部講師)

常富 豊 (環境省 中部地方環境事務所)

後藤 常明 (環境省希少野生動植物種保存推進員)

大塚 之稔 (日本野鳥の会 岐阜県支部 支部長)

野村 典博 ((特非) 森と水辺の技術研究会 理事長)

コーディネーター:田中 俊弘 (岐阜県生物多様性研究会 代表)

生物多様性シンポジウム

すばらしき

いきものだらけの世界!



主催 :岐阜県生物多様性研究会 ・ 岐阜市

後援 :岐阜県

問い合わせ :岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当:吉村 TEL 058-265-4141(内線 6451)

講師紹介

村上 興正 (むらかみ おきまさ)

京都大学理学部講師を退官し、現在は、同志社大学工学部研究科嘱託講師、京都精華大学非常勤講師。専門は野生動物を対象とした保全生態学。日本生態学会外来種検討作業部会長、国土交通省淀川水系流域委員、京都府環境審議会委員、自然・鳥獣保護部会部会長など多数の委員を歴任。京都府レッドデータブックのための調査、編集等の委員長を務められた。京都府の「絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例(仮称)」の制定に際しての野生生物の保全制度に関する研究会座長。著書に「外来種ハンドブック(地人書館)」など。

主催者紹介

「岐阜県生物多様性研究会」の取り組み

私たちの生活は、人と自然との共生による持続可能な循環システムの上に成立している。この循環システムの基礎となるものこそ『生物の多様性』(多様な生物の住む空間)だが、今この生物の多様性を取り巻く環境は非常に危機的な状況にある。このような危機に際し、自分達は生物多様性保全に向けて何をすべきか、また、行政政策に何が必要かを考える勉強会やシンポジウム、ワークショップ、アンケート調査を実施するとともに、それらの成果をとりまとめ、行政への政策提言を行っている。



岐阜市長に提言書を提出

活動実績

年月	活動内容等
平成 16 年 4 月	生物多様性研究会設立
平成 16 年 4 月～ 18 年 6 月	「新・生物多様性国家戦略」勉強会の実施
平成 18 年 6 月	生物多様性研究会シンポジウム「この風景をいつまでも」開催
平成 18 年 6～12 月	生物多様性に関する市民の意識調査(アンケート調査)実施
平成 18 年 10 月	第1回ワークショップ「みんなで考えよう! 岐阜の生物多様性」開催
平成 18 年 12 月	第2回ワークショップ 「生物多様性でもの申す! 市民と行政へのメッセージを考えよう」開催
平成 19 年 2 月	岐阜県、岐阜市への政策提言 「行政政策における『生物多様性保全』という新たな価値観について」の提出

○岐阜県生物多様性研究会 代表: 田中 俊弘
〒502-8585 岐阜市三田洞5丁目6-1 岐阜薬科大学薬草園研究室内
Eメール: gifubiodiv@yahoo.co.jp

岐阜市の生物多様性保全にむけた取り組み



『市民・地域・NPO・事業者等との協働による自然環境保全』を目標に、達目洞(だちぼくぼら)のヒメコウホネ生育地保全活動をはじめ、様々なセクターとの協働の中から、行政としての役割を担う形で岐阜市の自然環境保全や地域の自然ふれあい活動の推進に取り組んでいる。また、市民有識者との協働により、貴重な動植物種の生息・生育状況調査を継続的に実施し、生息・生育環境等に問題があれば、対策の検討および市民や専門機関等との協働による保全の推進に取り組んでいる。

○岐阜市 自然環境室
<http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>